

第1回 東大和市学校給食センター運営委員会・専門部会

< 報告 >

1 日時 平成25年11月22日(金)午後3時~4時20分

2 場所 市役所会議棟 第8会議室

3 出席者 6名

4 欠席者 1名

5 事務局 3名

6 傍聴者 なし

7 内容

(1) 部会長選出

(2) 部会長職務代理者の指名

(3) 今後の日程(案)及び審議内容 事務局から説明

(4) 審議 資料に基づき事務局から説明・質疑応答

8 主な質疑応答(要旨)

- (質疑) 民間委託した場合、現在いる調理員はどうなるのか。
→ (回答) 正規職員は他部署へ異動する可能性があるが、具体的には決まっていない。臨時職員は最長1年の雇用のため、期間満了で雇用終了となる。希望に応じて、委託を請け負った業者に本人の意向を紹介することも考えられる。
- (質疑) 民間委託した場合のメリットは、どのくらい期待しているのか。
→ (回答) 今後メリットと懸念について検討していきたい。(回答) 本日の運営委員会資料に、①給食調理の向上、②業務の効率性向上、③業者選定に競争性が働くことによる経費の節減、④食育指導の充実を掲載している。①現在は調理専門職ではない。委託業者に調理師や栄養士有資格者を入れてもらうことにより知識や技術、現在の給食センターにはない機器の習熟等の点で給食調理の向上が期待できる。②はシフトを柔軟に組むことが可能になる。④は、現在は栄養士が逐一調理員に直接指示しているが、事前に文書等で指示することにより現場へ入る時間が有効に活用でき、食育指導に充てることできる。以上の点が挙げられる。
- (質疑) 経費の節減とは、具体的にどのくらいなのか。→ (回答) 平成21年度に一定の条件の基ではあるが試算している。民間委託の運営経費は年間2.3億円、直営の運営経費4.15億円程度である。ただし、新学校給食センターでは現在の給食センターでは行っていない炊飯やアレルギー対応

に取り組む分、人数が増える可能性もある。

- (質疑) 民間委託はいつのタイミングで行うのか。→ (回答) 平成29年4月の稼働を予定している。受託業者はスタッフを募集する期間も必要であるので、平成28年度に入ってから業者を選定する予定である。稼働前の平成29年1月から3月頃には、機器の操作研修や試運転等も行ってもらい必要がある。
- (質疑) メリットとして業者選定に競争性が働くとあるが、競争できるほど業者は存在するのか。→ (回答) 調理業者は複数ある。全国規模で業務展開している業者もある。他県の郷土料理の経験を活かせる可能性もある。
- (質疑) 民間企業は人件費が安いことが多いので、パート社員が定着しないことが懸念されるがいかがか。→ (回答) 安かろう悪かろうでは困るので、業者選定の際に金額だけでなく提案内容で判断するプロポーザル方式の導入を検討したい。
- (意見) 食材は直営で選定して欲しい。
- (意見) 民間委託した場合には、市の業務として業者のチェックも必要になる。→ (回答) 民間委託した場合の留意点について検討する際に、そのような内容も盛り込むことができる。